正しくお使いいただくために

本書では、「941SH」を「本機」と表記します。あらかじめご了承ください。
各機能の操作については、「941SH使い方ガイド」をご参照ください。

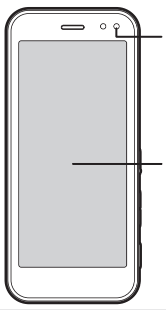
■ ご使用時の注意事項

⚠危険	**本機に使用する電池パック・充電器（オプション品）・卓上ホルダー（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。** ● 指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。
⚠警告	**本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。** ● 電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。
	充電器をコンセントに差し込むときは、卓上ホルダーの端子および充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。 ● 感電・ショート・火災などの原因となります。
	モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。 ● 視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

TCAUZA122AFZZ
09L 83.4 TR KY①

● 本機は、3G方式とGSM方式に対応しております。
● 約1ヶ月間、本機の電源をOffもしくは圏外にいた場合、ネットワーク自動調整の確認画面が表示されることがあります。ネットワーク自動調整を行わないと、本機のデジタルTVや本機で録画したTV番組の視聴、カメラ、メディアプレイヤー、S!アプリなどを利用することができません。
● 回線の解約後は、電話や通信機能だけでなく、デジタルTVや録画したデジタルTV番組の視聴、カメラ、メディアプレイヤー、S!アプリなどを利用することができません。

ディスプレイ／表示について



● 傷つきを軽減するため、お買い上げ時、ディスプレイにはフィルムが貼ってあります。
なお、このフィルムの販売、提供はしていません。
● バックライトやテレビの映像設定で、明るさセンサーを設定（「☑」）すると明るさセンサーが周りの明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。本機をオープンポジションにした直後や、急に明るさの異なる場所に移動したときなどは、調整に時間がかかることがあります。
● 明るさセンサー部には、市販のシールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。

電池残量表示について

● 本機は、次の操作でディスプレイの電池残量表示を切り替えることができます。
（ミニ電池表示）
「MENU」|◉➡「設定」➡音・表示設定画面で「ディスプレイ設定」➡「ミニ電池表示」➡表示形式決定

残量
● 電池残量の目安を表示します。

FULL	LOW	%
充電完了 （スモールライト消灯）	電池レベル1以下	電池残量の目安を表示

● 充電中は、電池表示の背景がオレンジ色に変わります。
● お買い上げ時は、ディスプレイ消灯状態から点灯したとき、もしくはサイドキー（◀か▶）を押したとき、一時的に電池残量表示（%）をします。
● 電池パックの充電は、性能劣化を軽減するように制御されています。
そのため、充電が完了しても、残量は100%にならないことがあります。
● **「残量」は目安であり、実使用を保証するものではありません。**
また、以下の状態になっても故障ではありません。
■ 電池パック容量は、周辺温度の影響を受けます。また、充放電をくり返すことによって、使用できる時間は短く、容量は少なくなってきます。このため、残量は実際に使用できる時間との誤差を生じることがあります。

モーションコントロールについて

● 本機は、傾きや動きを検出するモーションコントロールセンサーが搭載されています。
本機を動かすことで、モーションコントロール操作することができます。

モーションコントロール操作例			
左または右に90度回転	ひっくり返す	左または右に振る	手前または奥に振る
縦横画面表示切替	**クイックサイレント**	**コンテンツ選択**	**拡大／縮小**

● あらかじめ利用したい機能で、モーションコントロールが有効になるように設定しておく必要があります。
〈モーションコントロール操作を有効にする〉
「MENU」|◉➡「設定」➡選択「本体・メモリカード」タブ➡「モーションコントロール設定」➡「アクション設定」➡動作決定➡「On」
● お買い上げ時は、クローズポジションのみ、縦横画面表示切替します。
● モーションコントロールは、誤動作防止が設定されているときや、画面が消灯しているときは利用できません。（クイックサイレントは利用できます。）
● モーションコントロール操作時は、周りの安全を確認したうえで、本機をしっかり握り、強く振りすぎないでください。人や物に当ったり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

誤動作防止について

● お買い上げ時は、クローズポジションで🔑を押したり、クローズポジションのまま何も操作をしないと、画面が消灯したあと誤動作防止が設定されます。
● クローズポジションで画面が消灯しているときに、🔑を押すと画面は点灯しますが、まだ誤動作防止が働いているため、タッチパネルで操作はできません。もう一度🔑を押すと、誤動作防止が解除され、タッチパネルでの操作が行えるようになります。

タッチパネルについて（使い方ガイド☞P.10〜P.11、P.27）

● 画面が点灯しているときに、タッチパネルに触れたまま開閉を行うと、操作として認識（ウェブに接続など）することがありますので、ご注意ください。
● タッチパネルは、誤動作防止が設定されているときや画面が消灯しているときは利用できません。なお、タッチパネル操作機能を「Off」（無効）にすることはできません。
● 本機をかばんやポケットに入れて持ち歩くときは、タッチパネルやモーションコントロールが反応するなどの誤動作、電池パックの消耗を防ぐため、誤動作防止ボタン🔑を押して画面が消灯してから、かばんやポケットに入れてください。
● タッチパネルに市販のシールなどを貼ったり、水分を付着させないでください。誤動作の原因となります。タッチパネルに水分が付着しているときは、乾いた柔らかい布などでふき取ってください。
● 急激に温度変化するような環境で使用すると、タッチパネルが反応しなくなることがあります。このときは、誤動作防止ボタン🔑を押し、画面消灯後、再点灯させてからタッチパネルを使用してみてください。
● タッチパネルで思うように項目やボタンを選択できないときは、タッチパネル補正を行ってください。詳しくは、使い方ガイド☞P.27をご参照ください。
タッチパネル補正は、よくお使いになる姿勢や角度で行ってください。
● タッチパネル補正を行っても思うように選択できないときは、次の操作を行ってください。補正が初期の状態に戻ります。
◉➡「設定」➡選択「本体・メモリカード」タブ➡「タッチパネル設定」➡「タッチパネル補正」➡「はい」➡暗証

Wi-Fi（無線LAN）について

● 本機は無線LAN（以降「Wi-Fi」と記載）に対応しており、ご家庭などのWi-Fi回線や公衆無線LANサービスを通じて、インターネットを利用できます。
● Wi-Fi専用のブラウザとしてダイレクトブラウザを搭載しています。ダイレクトブラウザでは、ソフトバンクモバイルの3Gサービスを経由せず、直接Wi-Fiでインターネットに接続します。
● Wi-Fi利用中、電波状況に応じて自動的に3G回線に切り替わることがあります。
3G回線での接続では、パケット通信料が発生しますので、ご注意ください。
Wi-Fiから3G回線に切り替わる際、確認画面を表示したいときは、次の操作を行います。
「MENU」|◉➡「ツール」➡選択「外部接続」タブ➡「Wi-Fi」➡「共通設定」➡「切替確認設定」➡「Wi-Fiから3Gへ切替」➡「On」
● Yahoo!ケータイやPCサイトブラウザをWi-Fiで利用するときは、別途「**ケータイWi-Fi**」へのご契約が必要です。
● ご家庭などでご利用になるときは、別途ブロードバンド回線、プロバイダとの契約、Wi-Fiアクセスポイント機器が必要です。
● 公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要です。
● ご家庭などでご利用になるときは、あらかじめWi-Fiアクセスポイント機器側の設定を行ってください。（Wi-Fiアクセスポイント機器側の設定については、Wi-Fiアクセスポイント機器の取扱説明書を参照してください。）
● 本機側の登録方法やWi-Fiについて詳しくは、使い方ガイド☞P.46をご参照ください。
● Wi-Fiは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
● 何も操作せず画面が消灯したとき、Wi-Fiは自動的に切断されます。操作を再開し画面が点灯すると、自動的に接続されます。
● 電気製品・AV・OA機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります。（特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります。）
● 使用上の注意事項について詳しくは、使い方ガイド☞P.107をご参照ください。

電池パックの持ちと消耗軽減について

- 次のような使用や操作をしたときは、電池パックの消耗が早くなるため、本機の利用可能時間が短くなります。
  なお、電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。
  〈操作(例)〉
  - 頻繁なポジション変更
  - カメラや簡易方位計、ナビアプリの連続使用
  - テレビの視聴や録画／再生
  - メール作成など連続したボタン操作
  - 音楽再生やボイスレコーダーでの録音／再生
  - スポットライトの利用

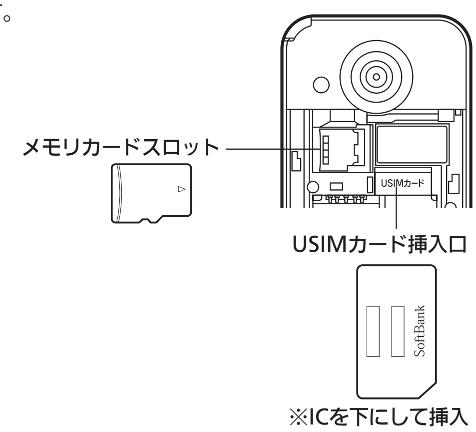
  〈設定(例)〉
  - パネル点灯時間やバックライトの点灯時間を長く設定したとき
  - バックライトや画面を明るくなるよう調整したとき
  - Bluetooth®機能を「On」(有効)にしているとき
  - 赤外線通信機能を「On」(有効)にしているとき
- 次の設定を変更すると、電池パックの消耗を軽減できます。
  ご使用にあわせた設定をおすすめします。
  〈モーションコントロールに関する設定〉
  - **アクション設定**：各設定を「Off」にすると「On」に比べて軽減できます。
    「MENU」|◉➡「設定」➡選択「本体・メモリカード」タブ➡「モーションコントロール設定」➡「アクション設定」➡動作決定➡「Off」

  〈映像に関する設定〉
  - **AVポジション**：画面を暗く設定するほど軽減できます。
    テレビ視聴中に「メニュー」|⊚➡「AV設定」➡「AVポジション」➡効果決定
  - **映像設定**：画面を暗く設定するほど軽減できます。
    テレビ視聴中に「メニュー」|⊚➡「AV設定」➡「映像設定」➡「明るさ」➡明るさ決定

  〈照明や表示時間に関する設定〉
  - **バックライト**：点灯時間を短く、明るさを暗い設定にするほど軽減できます。
    「MENU」|◉➡「設定」➡音・表示設定画面で「ディスプレイ設定」➡「バックライト」➡「点灯時間」(時間決定)／「明るさ調整」(明るさ決定)
  - **パネル点灯時間**：点灯時間を短くするほど軽減できます。
    「MENU」|◉➡「設定」➡音・表示設定画面で「ディスプレイ設定」➡「パネル点灯時間」➡時間決定
  - **クローズ後点灯時間**：点灯時間を短くするほど軽減できます。
    「MENU」|◉➡「設定」➡音・表示設定画面で「ディスプレイ設定」➡「クローズ後点灯時間」➡時間決定

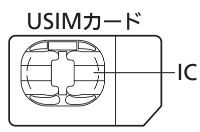
microSD™メモリカードについて(使い方ガイド☞P.40)

- お買い上げ時には、メモリカードスロットに保護カードがセットされています。
  保護カードを取り外してから、メモリカードを取り付けてください。なお、メモリカードを取り付けていないときは、メモリカードスロット保護のため、必ず保護カードを取り付けてください。取り付け方法については、使い方ガイド☞P.40をご参照ください。
- メモリカードを取り付けるときは、メモリカードスロットに無理に押し込まないでください。破損や接触不良の原因となります。
- **メモリカード／保護カードは、小さなお子様の手の届かないところで保管／使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。**
- **必ず本機の電源を切った状態で、メモリカードの取り付け／取り外しを行ってください。**
- USIMカード挿入口に誤ってメモリカードを取り付けると、本機やメモリカードが破損する原因となります。



USIMカードについて(使い方ガイド☞P.86〜P.87)

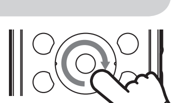
- USIMカード挿入口は、上図の位置にあります。
- USIMカードのIC部分に汚れなどが付着していると「**USIM未挿入です。電源Off後、USIMを挿入してください。**」と表示されることがあります。このような場合は、USIMカードのIC部を乾いた柔らかい布などできれいにしてください。USIMカードのIC部を清掃しても前述のメッセージが表示される場合は、お買い上げいただいた「**取扱店**」または「**ソフトバンクショップ**」にご相談ください。



- 本機を落としたり、強い衝撃を与えると、「**リフレッシュ**」と表示され、待受画面に戻ることがあります。これはUSIMカードが一時的に認識されなかったためで、故障ではありません。

ベクターパッドについて

- 本機は、マルチガイド部分がセンサー(ベクターパッド)になっており、押す強さによってスクロールの速さが変化します。また、ベクターパッドをぐるっとなぞることで、便利なメニュー(スピンぐるメニュー)を表示することができます。



- ベクターパッドが思うように動作しないときは、ベクターパッド補正を行ってください。
  「MENU」|◉➡「設定」➡選択「本体・メモリカード」タブ➡「ベクターパッド設定」➡「ベクターパッド補正」➡0(長く)
- ベクターパッドは、端の方を押さえて操作するとカーソルが反応しないことや、動作が遅くなることがあります。ベクターパッドの中央寄りを押さえて操作を行ってください。

S!メールについて

- **本機は、最大2Mバイトまでのメールを送受信できます。大きな画像や複数のファイルを添付することも可能です。ただし、契約内容により通信料が高額になる可能性がありますので、ご注意ください。**
  - **パケット通信を安心してご利用いただくために、パケット定額サービスをご用意しております。詳しくはソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)をご参照ください。**
  - **相手が対応していないときは、メールが途中でカットされたり、ファイルが添付されないことがあります。**
- **受信したメールのサイズ目安が1Mバイト以内のとき(国内／海外共)は、添付ファイルを含む全文が自動的に受信されます。特に海外では、パケット定額サービスの対象外となり、通信料が高額になる可能性がありますのでご注意ください。(本文の一部を受信して、必要なメールだけを全文受信することもできます。)**

■自動受信／添付ファイルに関する設定

共通操作➡「✉」|⊚➡「メール／PCメール設定」➡「S!メール設定」➡下記の操作	
S!メールを自動受信しない [自動受信設定]	「メール受信設定」➡「自動受信設定」➡「Off」(※1)
受信するメールサイズを制限したい [受信サイズ制限]	「メール受信設定」➡「受信サイズ制限」➡「制限あり(300KB)」(※2)
送信するメールサイズの上限を設定したい [メール作成サイズ]	「メール作成サイズ」➡「300KB」／「300KB超添付時確認」(※3)
添付ファイルを拡大表示しない [画像表示設定]	「画像表示設定」➡「通常サイズ表示」(※4)
添付ファイルの自動表示／再生を設定したい[添付ファイル自動表示]	「添付ファイル自動表示」➡「画像」／「サウンド」➡「On」／「Off」(※4)
撮影／録音した添付ファイルを保存しない[添付ファイル送信時設定]	「添付ファイル送信時設定」➡「保存しないで送信」(※4)
添付画像が自動でリサイズされるときのサイズを設定したい [送信画像サイズ]	「送信画像サイズ」➡「50KB(壁紙)」／「295KB(2M画像)」／「1.9MB(5M画像)」／「毎回確認」(※5)

※1 「On(最大300KBまで)」／「On(最大1MBまで)」のときは、添付ファイルを含むメールのサイズ目安が300Kバイト／1Mバイトまでが自動的に受信されます。通信料が高額になる可能性がありますので、ご注意ください。
※2 「制限あり(300KB)」に設定したとき、300Kバイトを超えるメールは、超過部分がサーバーで300Kバイト以内に縮小されます。(画像以外の添付ファイルのときは、削除されます。)また、一度サーバーから受信したメールを、再度異なるサイズで受信することはできませんので、ご注意ください。
※3 「300KB超添付時確認」に設定している場合、ファイル添付によってメールサイズが300Kバイトを超えるときは、メール作成サイズの確認画面が表示されます。
※4 PCメールにも設定内容が反映されます。
※5 「毎回確認」に設定すると、リサイズ時にサイズ選択画面が表示されます。

■自動受信の条件に関する設定

- 種類やアドレスを指定して、自動受信するS!メールを限定できます。

共通操作➡「✉」|⊚➡「メール／PCメール設定」➡「S!メール設定」➡「メール受信設定」➡「自動受信の条件」➡選択「指定したメール」➡「編集」|⊚➡下記の操作	
種類で制限する	メールの種類決定(「☐」⇔「☑」)➡「確定」|⊛
メールアドレスで制限する	「個別アドレス」(「☑」)➡「編集」|⊚➡登録場所決定➡宛先選択方法決定➡宛先選択／入力完了後➡「確定」|⊛➡「確定」|⊛
登録した個別アドレスを削除する	選択「個別アドレス」➡「編集」|⊚➡アドレス選択➡「メニュー」|⊚➡「削除」➡「はい」➡「確定」|⊛
登録した個別アドレスを全件削除する	選択「個別アドレス」➡「編集」|⊚➡アドレス選択➡「メニュー」|⊚➡「設定リセット」➡「はい」➡「確定」|⊛

PCメールについて

- PCメールアカウントを設定すると、パソコン用のアドレスのメールを本機で送受信できます。
- 次のようなときには、パケット通信料が高額になる可能性がありますので、ご注意ください。
  - データ量の多いメールを送受信するとき
  - 自動的にメールを受信するよう設定しているとき
    (「自動新着チェック」が「On」)
  - 新着チェックの間隔を短く設定しているとき、または頻繁に新着メールを確認したとき
    (新着メールがなくてもパケット通信料が発生することがあります。)
- **海外では、パケット定額サービスの対象外となります。**

その他機能について

- 着デコは、着デコ対応のソフトバンク携帯電話どうしで利用できます。
  着信側の設定によっては、着信時に着デコファイルが再生されないことがあります。
  詳しくは、使い方ガイド☞P.52のバーコードを読み取って、サイトをご参照ください。
- さまざまなアプリケーション(ウィジェット)を待受画面に貼ることで、ほしい情報や機能をすぐに入手／起動できます。
  - 画面点灯時は、ウィジェットを操作していなくても自動で通信を行うことがあります。
    自動更新しないようにするには、次の操作を行ってください。
    「MENU」|◉➡「ウィジェット」➡「設定」➡「自動更新設定」➡「Off」
- **ソフトバンクショップなどでS!速報ニュースや、S!電話帳バックアップのサービス利用申し込みを行ったときは、ネットワーク自動調整後に自動で通信が行われるようになります。**
  - **自動で通信しないようにするには、次の操作を行ってください。**
    - **S!速報ニュース**
      「MENU」|◉➡「ニュース／エンタメ」➡「S!速報ニュース」➡「S!速報ニュース一覧」➡「Yahoo!ニュース」➡「削除」|⊚➡「一件」➡「はい」
    - **S!電話帳バックアップ**
      「MENU」|◉➡「電話機能」➡「S!電話帳バックアップ」➡「詳細」➡「自動保存設定」➡「On／Off設定」➡「Off」